ドローンでカワウに立ちむかう！

近年増加するカワウは、河川での魚類の食害のほか、住宅地の営巣周辺の糞害（木枯れや倒木、においなど）も問題となっています。これらの対策と繁殖抑制を目的に、他県の実例紹介とドローン演習を交えながら、7/1、2 に坪井潤一さん（中央水産研究所）によるカワウ対策研修会が行われました。

↑ドライアイス投入装置の説明をする坪井さん（天竜川漁協にて）

1．静岡県周辺のカワウ分布と行動範囲

カワウ対策の基本的な考え方

（ねぐら・コロニー）

小規模なもの	大規模なもの
⇩	⇩
増やさない	繁殖抑制

2．坪井さんが提案するカワウ対策

① 内陸のコロニーはつぶす（除去）

➡ ビニルテープで追払い

- ビニルテープ自体が飛来等の障害になる
- 風になびくテープの音で怖がる

② 撃てる大規模コロニーは

➡ エアライフル捕獲（駆除）

- 猟友会の協力が必要
- 銃の射程距離にないと撃てない。
- 漁期中は人への危険が伴う。

大井川は、鮎漁期中のカワウ駆除は事故防止のため行っていません。

③ 撃てない場所の中規模コロニーは ドライアイス投入

（壊死卵の抱卵による繁殖抑制）

- コストと技術が必要
- 県などへ諸手続きが必要

実施有無はドライアイスに着色料を混ぜ、卵の色で識別しています。（研修会資料より）